

まなびや訪問

金融教育研究校・
金銭教育研究校
の紹介



五所川原立佞武多



五所川原商業高等学校の校舎



授業風景



マネープランゲームの様子



青森県五所川原商業高等学校

五所川原商業高等学校は、全校生徒約230名の男女共学で、2023年に創立70周年を迎えます。同校は全長約23m、重さ約19tの山車「立佞武多」、太宰治の生家「斜陽館」、そして、津軽三味線発祥の地として有名な五所川原市にあります。多様化する社会の変化に対応し、活躍できる人材の育成をめざし、日々学習活動に取り組んでいます。

商業科は情報・流通・会計に関する基礎や実践的な学習を行っています。各分野とも金融との関わりが深いことから、キャリア教育の推進と金融教育の充実を図るため、2020年度から2年間、青森県金融広報委員会より金融教育研究校として委嘱を受けました。

現3年生を対象に、ファイナンシャル・プランナー（AFP）を講師に招き、全10回のセミナーを実施しました。セミナーではまず生徒が生まれてから高校卒業までにかかる費用を一般的な養育・教育費をもとに計算しました。想像を超える金額にみんな驚いていましたが、同時にこれだけの支えを

得て学習できることに気づくとともに、生活の基礎となるお金の役割や活用方法について理解を深めました。

さらにそつした基礎知識を使いながら、さまざまな形式のマネープランゲームをしました。その後、ゲームで出てくる就学・就職・結婚・退職等の各ライフステージにおける選択、収入や支出等について、グループで意見交換をします。その中で生徒は将来起こり得る出来事に、どう判断し、行動すればよいのか考えました。最後にその判断について周囲の意見や助言を聞き、自分の判断を深く掘り下げることで金融リテラシーを高めていきました。

今回のセミナーでは、社会への感謝に始まり、お金の動きを学び、ゲームを通して生活設計・意思決定を考えさせるなど、自立した社会人になるための金融教育を幅広く実践することができました。今後、さらに学びの機会を増やし、生徒が楽しく主体的に取り組める金融教育を続けていきたいと考えています。